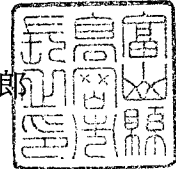


道 第 158 号

平成20年10月22日

国土交通省道路局長 様

高岡市長 橘 慶一郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったこのことについて、別紙の
おり提出します。

事務担当

富山県高岡市 道路建設課 山口

電話0766-64-1464

〒939-0192 高岡市福岡町大滝12番地

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

富山県高岡市

〈基本的な認識〉

- ・ 道路は、様々な都市活動を支え、都市の骨格を形成するとともに、地域住民の生活を支える重要な都市基盤施設である。
- ・ 道路整備については、これまで、高規格道路、地域高規格道路、幹線道路など道路ネットワークの構築、通学路など安全・安心な歩行者ネットワークの構築、雪に強い道づくり、鉄道駅など交通結節機能の強化及び再開発事業・区画整理事業による市街地の基盤整備など、多くの事業において幅広く取り組んできた。
- ・ 健全で持続的な都市の発展を支えるため、今後とも、都市基盤施設である道路の充実強化と適正な維持に努めなければならないと考えている。

〈改善すべき点、要望や提案〉

- ・ 都市部に比べて地方では、公共交通が十分に整備されておらず、自動車は生活必需品である。地方における道路整備はまだまだ不十分であり、道路特定財源が一般財源化されても重点的に地方道路整備を推進していただきたい。
- ・ 道路構造物が老朽化し維持管理コストが増大する中で、適切な時期における延命策の実施など計画的・効率的な維持管理が必要と思う。このため、市民生活に密着した生活道路・通学路の路面改修や側溝整備及び歩道、ガードレール等の交通安全施設の整備など、道路のメンテナンスにも地方道路整備臨時交付金等の補助制度が利用できるよう、メニューの拡大や、より一層の弾力化を図っていただきたい。
- ・ 道路構造令は、最小限保持すべき道路の構造基準として定められている政令であるが、過大な道路整備にもつながりかねないことから、より一層の弾力化を図っていただきたい。
- ・ 効率化の観点から、既存の道路ストックの有効利用は重要であり、高岡市においても、北陸自動車道、能越自動車道の自動車専用道路をより活用するため、追加インターチェンジの設置に向け努力しているところである。こうした利活用に関する国の支援をお願いしたい。
- ・ 少子高齢化等を背景とし、歩行者や自転車交通に対する安全・安心な道路交通環境の充実整備が求められるなか、道路空間の質的向上に向けた施策を推進していただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

富山県高岡市

- ・ 鉄道駅など交通結節点の機能強化や中心市街地の活性化に資するとともに周辺市街地の良好な居住環境の確保を図る面的整備など、まちづくりの基盤施設整備に対する支援の強化・充実に図っていただきたい。
- ・ 土地の値下がり傾向が続く現在においては、土地区画整理事業が財政的に成り立ちにくい状況となっている。このため、都市計画道路と一体的に整備を図るとき、市道などの区画道路についても全路線補助対象とし、区画整理事業による都市の再生等をお願いしたい。
- ・ 現在は、道路、街路、河川、下水、砂防などの区分に分けて補助事業の箇所付けや補助金の内示がなされているが、地方の実情や状況の変化にあわせて、弾力的に利用できるように補助体系にしていきたい。

【地域の現状 1】

高岡市では、今夏の東海北陸自動車道全線開通に引き続き、北陸新幹線の開業、能越自動車道の延伸、伏木外港の整備などが、今後数年の間に予定されている。また、都市の品格を上げ関東・東海等の都市圏はもとよりアジア諸国との交流も呼び込めるようなまちを目指している。

【地域の現状 2】

高岡市では、北陸新幹線の建設に対応し、在来線であるＪＲ高岡駅の再整備や分離駅となった新幹線駅関連施設（駅前広場等）及び駅周辺の基盤施設整備に取り組んでいる。

【地域の現状 3】

高岡市では、一級河川庄川・小矢部川の二大河川をはじめ多くの中小河川を有する地理的特性を持ち、また、冬季は重い雪が大量に降る厳しい自然環境下にある。

【地域の現状 4】

高岡市では、道路の幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所や老朽化した橋りょうが残っている。また、高齢者が関係する交通事故が依然として多い傾向がある。さらに、今年の夏に実施した通学路の緊急点検の結果では、危険箇所が８０１箇所抽出された。

【課題 1】（広域ネットワークの整備）

- ・人や物の流れが大きく変化しようとしている飛躍のときであり、インターチェンジや交通結節点へのアクセスを強化し有機的に結ぶため、高規格道路や地域高規格道路等広域幹線道路ネットワークのより一層の充実・整備が求められている。
- ・高速道路のインターチェンジと伏木外港を結ぶ速達性の高いアクセス道路の確保（臨港道路との連携）

【課題 2】（交通結節機能の強化）

在来線の交通結節機能の強化と広域的に利便性が向上する新幹線駅の整備など、在来線と新幹線駅との良好なアクセス確保を図っていく必要がある。

【課題 3】（体系的な道路整備と雪に強い道路）

- ・これら自然環境を克服し、富山県西部の中心都市として石川県登方面や岐阜県飛騨方面との広域連携・交流などに対応するため、高規格幹線道路から生活道路に至る体系的な道路網の整備促進が求められる。
- ・冬期における円滑な道路交通確保のため、雪に強い道路整備が求められている。

【課題 4】（安全で安心な生活道路や通学路の整備）

機能的で安全な地域道路網の形成を図り、交通事情や地域の特성에応じた市道の拡幅改良や側溝整備、舗装等の整備を進めるとともに、子どもや高齢者などにやさしい歩行者ネットワークの構築や交通安全施設の整備を進めるなど、交通事故が起これにくい道路環境づくりを推進する必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

富山県高岡市

【地域の現状 5】

高岡市は、古くは、大伴家持卿が多くの歌を詠み万葉集に残した万葉のふるさとであり、また、近世、加賀藩主前田利長公が高岡城に入城し高岡のまちづくりを行って以来、平成21年には開町400年を迎える。市では、こうした豊かな自然景観や歴史的町並みを活かした道づくりを、これまで進めてきている。

【地域の現状 6】

高岡市は歴史が古く、既成市街地における生活道路においては、側溝などの老朽化が著しい。維持補修に努めているが、補助制度のある道路の新設改良に比べて遅々として進んでいない状況から、地域住民の苦情が年々多くなっている。

【課題 5】（地域特性を活かした良好な景観を持つ快適な道づくり）

重厚で脈々と受け継がれてきた歴史、文化、風土を道路行政にも活かし、引き続き、快適な道づくりに取り組んでいく必要がある。

【課題 6】（生活道路の老朽化に対応した適正な維持管理）

地域住民の要望に応え、老朽化した道路側溝等の補修を速やかに進める必要がある。

都市の将来像「水・みどり・人 光り輝く躍動のまち 高岡」

これを実現するための街づくりの5つの目標

1 飛越能86万人のふれあいと交流のまち

「もてなしの心」をはぐくみ、高速交通網の整備を背景に広域観光など都市間連携・交流を積極的に推進し、環日本海時代における県西部の拠点と市にふさわしい魅力あふれる元気なまちづくりを目指します。

【道路関連の施策】

- ・北陸新幹線、能越・東海北陸自動車道（4車線化）の建設促進
- ・高岡駅・新幹線新駅周辺の一体的整備（交通結節機能の強化）
- ・市街地の整備（土地区画整理事業など）
- ・幹線道路網・地域公共交通

2 水・緑につつまれ安心して暮らせるやすらぎのまち

すべての市民が元気に満ちあふれ、庄川、小矢部川、雨晴海岸や二上山、西山丘陵などの水・緑が織りなす豊かな自然につつまれ、快適な住環境のなかで安心して暮らせるまちづくりを目指します。

【道路関連の施策】

- ・生活道路の整備、維持管理
- ・交通安全・防犯対策の充実（通学路など）

3 心豊かな人をはぐくみ 万葉と前田家ゆかりの歴史と文化をたのしむまち

生涯にわたって心豊かな人を次代の担い手としてはぐくみ、市民が誇る万葉と前田家ゆかりの薫り高い歴史と文化を21世紀の新たな潮流の中で継承・発展・発信していくまちを目指します。

【道路関連の施策】

- ・歴史、文化を活かした快適な道づくり

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

様式 ③

富山県高岡市

4 ものづくりの技と情熱がつくり出す にぎわいのまち

ものづくりの技が生きたる銅器、漆器、菅笠などの伝統産業、未来を拓くアルミ、機械、化学などの先端産業及び地域の特性を活かした農林水産業の持続的発展、魅力あふれる商業の振興に努め、活力ある産業都市を目指します。

5 みんなで考え みんなでつくる みんなのまち

新しい時代にふさわしい市民に開かれた市政を実現し、市民参加と協働の取り組みを進め、近隣自治体と連携しながら広域行政を積極的に推進します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項 活カ分野	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
国際競争力の強化のための交通サービスの向上	高規格道路等の整備促進 能越自動車道の早期全線開通建設促進 東海北陸自動車道の早期4車線化 伏木外港と高速道路インターチェンジを結ぶアクセス道路の整備	大都市圏、地方都市、アジア諸国との人・物・文化など幅広い交流や経済活動を活性化させる。	
地域活力の向上	新インターチェンジ設置事業 北陸自動車道、能越自動車道の新たなインターチェンジ設置のための調査検討	効率化の視点から既存の道路ストックを有効利用し、高速道路の利便性の向上と幹線道路の渋滞緩和を図り、産業経済の効率化、都市の活性化に資する。	
	土地利用促進関連道路整備事業 市街化区域内の低・未利用地の利用を促進する道路整備	市街化区域内大規模残存農地や工場跡地等において、先行的に道路を整備すること、民間活力による市街地での計画的な宅地供給が促進されるところに地域の居住環境が向上する。また、人口減対策効果も期待される。	
	能越自動車道インターチェンジへのアクセス道路の整備促進 国道8号の西高岡拡幅事業 地域高規格道路、主要地方道高岡環状線の整備等	都市間のネットワークを強化するとともに、インターチェンジ周辺への生産・物流機能の集積を図り、都市的な土地利用を進めていく。	

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

富山県高岡市

都市交通の快適性、利便性の向上	代表事例 - 高岡駅・新幹線新駅周辺の一体的整備 現高岡駅の改修促進(交通結節機能の強化) 新幹線新駅及び改修中の現高岡駅のアkses道路並びに駅前広場整備 - 国道・県道の整備 国道8号、国道156号、国道415号の整備促進 主要地方道、一般県道、都市計画道路の整備促進 (主)高岡環状線、(一)姫野能町線、(都)能町庄川線、(主)小矢部伏木港線等 - 幹線市道の整備 (都)下伏間江福田線、(都)中川和田線、駅南一丁目二塚線、荒屋敷下老子線、福岡上養線等 戸出石代川原線(庄川左岸堤防道路)、荒屋敷下老子線の延伸等の検討 - 市道(生活道路)の整備 道路改良及び道路路舗装 安全・安心な通学路の点検整備(20年度に801箇所を点検調査)、あんしん歩行エリア、歩行ネットワークの構築	期待する効果や評価等 - 現高岡駅及び新幹線新駅周辺を含むエリアを一体的に整備することで、利便性を考慮した高次都市機能の集積を促進し、交通結節機能の充実等、飛越能地域の玄関口にふさわしい環境をつくりだす。 - 高速交通網とアクセスし、都市交通の骨格となる幹線道路網の整備を促進するとともに、JRR北陸線、万葉線、コミュニティバスなどの公共交通網や交通機関相互の結節性を活かして、広域的な拠点としての交通ネットワークを充実させる。 - 国道、県道の整備と連携して幹線市道を整備し、効果的・効率的な交通ネットワークづくりを進める。 - 市民の日常生活を支える市道の改良等を行い、機能的な生活道路網をつくる。また、通学路の点検整備やあんしん歩行エリアの整備等により、安全で安心な歩行者空間を確保する。	○その他
---	---	--	------------------------------

安全分野

- 総合的な交通安全対策及び危機管理の強化

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

暮らし・環境分野	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 良好な生活空間・自然環境の形成	・ 快適な道づくり事業 山町筋の無電柱化、国道156号（御馬出町～清水町一丁目）の無電柱化、（都）高岡駅佐加野線（末広町～金屋町）の無電柱化、岸渡川線の景観整備、勝興寺寺内町や吉久の街並み、福岡の旧街道筋 ・ 市街地の整備 国道8号改修（公管金）と併せた福岡駅前土地区画整理事業の推進 新市街地の土地区画整理事業の推進	・ 歴史的な町並み（重要伝統的建造物群保存地区の土蔵造りの山町筋など）が残っている地域や名所旧跡など、景観に配慮すべき地区において、住民の理解と協力を得ながら、無電柱化や路面のデザイン化など快適な公共空間をつくり出す。 ・ それぞれの地域が持つ町並みや景観などの特色を活かした生活圏をつくり出す。	
横断的な政策課題分野 ・ 計画的・効率的な維持管理や更新の推進	・ 市道の持続的な維持管理 橋りょう長寿化修繕計画の策定	・ 生活道路・通学路の持続的な路面改修や側溝整備及び歩道、ガードレール等の交通安全施設の整備など、道路のメンテナンスを適時・適切に実施するとともに橋りょうの詳細な点検を実施すること、計画的かつ中長期的な維持管理が図られる。	